



認知症で  
人生終わりになんて、  
僕がさせない。

# ケアニン

～あなたでよかった～

戸塚純貴 松本若菜 山崎 一 / 水野久美

藤原令子 菜葉菜 小市慢太郎

監督：鈴木浩介 主題歌：香川裕光「星降る夜に」



原案：エグゼクティブプロデューサー：山国秀幸 プロデューサー：吉見秀樹 / 金延宏明 / 長田安正 / 柳瀬太郎 共同プロデューサー：小川明日香 特別協力：加藤忠相（あおいけあ）  
脚本：藤村磨実也 音楽：遠藤 浩二 撮影：西村敏彦 照明：宮尾康史 美術 / 装飾：都留啓亮 録音：重松健太郎 編集：佐野由里子 技術プロデュース：瀬戸井正俊 監督補：篠部良弥  
ラインプロデューサー：平山高志 介護指導：鈴木 真 スタイリスト：田中トモコ / 網野正和 ヘアメイク：遠山直美  
特別協賛：UAセンシ日本介護クラフトユニオン / 東北福祉大学 / 株式会社アスパートナース / 株式会社エス・エム・エス / 株式会社長谷工シニアホールディングス / 株式会社デジタル・スタンダード  
製作：「ケアニン」製作委員会（ワンダーラボラトリー / ライブラリー・コンテンツサービス / ノブピクチャーズ / ユナイテッドエンタテインメント / HORIZON / エイチエムプラス）  
配給・宣伝：ユナイテッドエンタテインメント ©2017「ケアニン」製作委員会 2017年 / 日本 / カラー / ステレオ / 105分  
推薦：厚生労働省 神奈川県 文部科学省特別選定作品 後援：藤沢市

[www.care-movie.com](http://www.care-movie.com)



**ケアニン** = 介護、看護、医療、リハビリなど、人の「ケア」に関わり、  
自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いている全ての人

「こんな仕事やってくれるか、  
どこにやりがいがあるんだ、  
どこが楽しんだ…ってか？」

「思っていないけど」

「えっ思わないの？スゲエな。俺なんか  
新人の頃は毎日思っていたけどな。少しは思うだろ？」

「…まあ、少しは」

「人間だから当然だよ。  
こっちも人間なら、向こうも人間。  
感情もあればプライドもあるんだ」



「人のために仕事がしたい」  
「じいちゃん ばあちゃんが好  
きだから」そんな理由で介護  
の仕事志す若者を、私たち  
は「介護ってすてきだぞ」って  
迎えることができていますだろ  
うか？大森圭が誇りをもって  
働ける現場をつくろう！

株式会社あおいけあ  
代表取締役 加藤忠相

## 介護職員が30万人不足！

高齢化がピークを迎える2025年に(厚労省調べ)

“3K(きつい、汚い、危険)”のイメージが先行する介護の仕事は、肉体的にも精神的にも厳しい仕事です。しかしこれほど人と本音で向き合え、感動する仕事はないと長く介護に携わる人たちは胸を張ります。映画「ケアニン～あなたでよかった～」は、神奈川県藤沢市に実在する「おたがいさん(株式会社あおいけあ)」をはじめとする30ヶ所もの介護福祉施設や専門学校、関連団体に取材のご協力をいただき、シナリオを一つずつ積み上げていきました。この作品には介護という仕事を通して働くことの意味や、人と人、地域との繋がりの尊さが描かれており、この中で語られているセリフの一つ一つが全て実際の現場からとった生きた言葉なのです。そうした日々の介護現場で働く人たちの姿を追いかけていくうちに自然と、人生に前向きになれる心温まる感動のストーリーが出来上がりました。それが本作「ケアニン～あなたでよかった～」です。

「…**経験**を積むんだよ。それが身になる。  
現場に慣れて人間と向き合えるようになったら、  
主も一人前の**ケアニン**だ」



「けあにん…？」

「ケアする人間。介護福祉士って  
言うと堅くなるしいじゃん」



**認知症で人生終わりになんて、僕がさせない——。**

大森圭(男性・21)は新人の介護福祉士。高校卒業後、これとやってやりたいことがなかった圭は、漠然とした理由で介護の専門学校へ入学。卒業後、圭が働くことになったのは、郊外にある小規模介護施設。高齢者たちと上手くコミュニケーションが取れず、悩む日々が続くなか、圭が初めてメインで担当することになったのは、認知症の星川敬子79歳。試行錯誤しながらも、先輩スタッフたちの協力もあり、少しずつ敬子との関係性を深めていく。「なんとなく」で始めた介護の仕事に、いつしか本気で向き合うようになっていく圭だったが…

## 介護の日 映画「ケアニン」上映会

日時：2019年11月25日(月)

対象：南城市民、医療・福祉・介護関係者など

<午前の部> 9:00~10:45(開場 8:30~) 先着50名

<午後の部> 13:00~14:45(開場12:30~) 先着50名

<場所> 南城市役所 1階大会議室

<問い合わせ先> 南城市生きがい推進課 917-5489・917-5341

入場無料

申込み不要